

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------|---|------------------|
| ○事業所名 | ライズ児童デイサービスいどがや（児発） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 10月 1 日 | | ～ 2025年 10月 31 日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 2 | (回答者数) 2 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 10月 1 日 | | ～ 2025年 10月 31 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年1 月 30 日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 安心・安全を基盤とした環境の維持 | 免疫力の弱い小さなお子さまも多いため、支援前後の清掃・消毒を徹底し、衛生的で清潔な環境を常に維持している。 | 発達段階に応じた感覚遊びや探索活動がより深まるよう、素材や玩具の選定、配置の工夫をさらに進める。 |
| 2 | お子さまの特性に合わせた空間構成 | 集中して取り組める個室や、リラックスできるスペースなど、お子さまの活動意欲を損なわないレイアウトを日々追求している。 | 静と動の活動をより明確に分けられるよう、視覚的な構造化の強化を行い、心理的な安定感を高める。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 内装材の耐久性と安全性の不一致 | 施設自体は新しいが、壁面等の強度が不足しており、活発な活動の中で破損（穴など）が生じやすい状況にある。 | 破損箇所の早期修繕に加え、クッション性の高い腰壁やガードパネルの設置など、活動の質を妨げない物理的な補強を検討する。 |
| 2 | 動的な活動における安全マージンの確保 | 壁の脆さを気にするあまり、お子さまの大胆な動きを制限してしまう心理的ハードルが職員側に生じる懸念がある。 | ハード面の補強を行うことで、職員がお子さまのダイナミックな動きを安心して見守り、促せる環境をハード・ソフト両面で整える。 |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ライズ児童デイサービスいどがや(児発)

2026 年 3 月 15

公表日 日

利用児童数 2名

回収数 2

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|--------|--|---------------|-----|-------|-----|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 1 | 1 | | | 当施設ビルの玄関からエレベーターまでに4段程の階段がございます。手すりはついておりますが安心安全を第一にサポートして参ります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 2 | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 1 | | | 1 | 季節感を取り入れた企画や行事を組み合わせることで、意欲を引き出す工夫をしております。今後も、お子さまの安心感を守りつつ、豊かな感性を育むプログラムを提供して参ります。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | | 2 | | | 保育園などとの交流はありませんが、ハロウィンや季節行事の際、地域の片と関わる機会がございます。 |
| | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 2 | | | | |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 1 | | | 1 | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | | | | 2 | 現在、そういった取り組みはしておりません。是非、具体的に参加してみたい内容の講座や、興味のある情報などございましたらご相談下さい。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 2 | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | | | 2 | | 現在、そういった取り組みはしておりませんが、ご希望のある際はご相談下さい。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|---|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 2 | | | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 2 | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 2 | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 1 | | | 1 | 各種マニュアルの見直しや更新に努めて参ります。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 1 | | | 1 | 当施設では、毎年5月と11月の年二回、それぞれに火災や地震を想定した避難訓練を実施しております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 2 | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 2 | | | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 2 | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 1 | | | 1 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 2 | | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ライズ児童デイサービスいどがや(児発) | | 公表日 | | 2026 年 3 月 15 日 | |
|----------|---------------------|--|-----|---------|-----------------|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 9 | 0 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 8 | 1 | | 未就学児童の利用が少ない為、通常は足りているが活動内容によっては部分的にサポートが欲しいと感じることがある。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 9 | 0 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 2 | | 活動スペースは充分だが、学齢期の児童との共有スペースでは、体格に合わせた補助便座やステップを使うようにしている。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 9 | 0 | | クールダウンや、個別活動に取り組む際は、認められている。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 2 | | 毎月の店舗会議や支援会議、また朝礼や終礼で共有・確認を行っている。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 2 | | 評価表からいただくご意見が少ない為、面談時などに直接お話しさせていただくこともある。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | | 職員閲覧ボードやノートを使い、共有内容を記録することで、常勤・非常勤に偏りなく確認できるようにしている。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | 2 | | 外部評価の機会が少ない。非常勤職員には、外部評価の実施を知らない者がいた。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 9 | 0 | | 研修を受けたあとの振り返りの機会を作ります。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | 0 | | 支援プログラムや日々の療育の様子をホームページ等で公表している。また、活動予定に関してはHUGアプリにて公開。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 9 | 0 | | 面談時に本人の様子や利用における希望などを伺っている。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 0 | | 意見交換前に、各自職員から、意見書を用意してからの検討の場を設けている。 |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | 0 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | 1 | | 活動記録を個々につけている。 ホワイトボードで全体の動きが確認できる。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | 0 | | 半年に一度、あるいは状況の変化に合わせて面談を行い、細かな発達状況などの確認と共有をすることで内容の設定をしている。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 9 | 0 | | 月毎に担当者が決められており、その中で意見を出し合う場が作られている。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 9 | 0 | | 季節に沿った工作や調理などは毎月のプログラムに組み入れながら、基本的な流れは変更せず、季節や行事に合わせ内容に変化を持たせている。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---|----------------------------------|--|
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | 0 | | こども達の個々の特性に沿って活動に参加できるよう配慮をしている。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 9 | 0 | | 朝礼、終礼にて打ち合わせや担当の確認を行っている。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 8 | 1 | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | 0 | | HUGアプリにて、日々の記録をつけており、振り返りができるようにしている。その他、職員申し送りノートで改善や変更の確認を行っている。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 2 | | 児童発達支援管理責任者を中心に参加することになっている。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 3 | | 体制に特に問題は感じないが、実際にそういった場面は少ない。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 3 | | 療育センターと、必要に応じて連携をとっているが、実際にそういった場面は少ない。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 3 | 4 | | 特別支援学校との連携はとれているが、他小学校とは担当教員とそういった時間を設けることに難しさを感じる。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 6 | 2 | | 療育センターと、必要に応じて連携をとっているが、実際にそういった場面は少ない。研修が開催される時には参加している。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 6 | | 公園外出などの機会に地域の児童と関わることはあるが、特性もある為、交流まではいかない。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 9 | 0 | | 利用毎に、直接過ぎの様子をお伝えしている。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 5 | | ご希望がないということもあるが、保護者の方への研修機会は少ない。 | |
| 保 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | 0 | | 契約時に説明をしている。 |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | 0 | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 9 | 0 | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | 0 | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 9 | 0 | | 父母会等のご要望がない。進路などのお悩みを吸い上げたものを事業所からお伝えしている。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | | 迅速な対応が出来る様、連絡体制を整えている。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | | HUGアプリでの発信を中心にHPでのブログ、またはLINEを活用している。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | 0 | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | 0 | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 5 | 4 | | 地域の方を招待する機会の予定はないが、保護者の方を対象に見学会は行っている。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | 3 | | 緊急用持ち出しファイルの用意をしている。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 9 | 0 | | 年に二回、5月と11月に避難訓練を実施している。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 9 | 0 | | 該当する児童なし。 |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 9 | 0 | | 該当する児童なし。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 3 | | 常勤・非常勤職員の認識に差がある。 |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 3 | | 保護者様への周知の機会が少ない。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | | |
| 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 9 | 1 | | 二か月に一度、虐待防止委員会での自己研修を行っている。 | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 8 | 1 | | 身体拘束のあり方について、定期的に研修を行っている。また、ご家庭には面談時に説明を行っている。 | |